

せり ざわ こう じ ろう
芹 沢 光 治 良

ノート (5)



『サムライの末裔』執筆当時
(1953 年)



広島 原爆ドーム
(写真提供:公益財団法人広島観光コンベンションビューロー)

『サムライの末裔』を読んでもみませんか？

芹沢光治良 (1896-1993)

作家 (エクリバン)。静岡県沼津市生まれ。人間主義的な作風で知られる。

2025 年

名作『人間の運命』『神の微笑』の著者

せりざわ こうじ ろう
芹沢光治良は1896年5月4日に静岡県沼津市の漁村^{がにゅうどう}我入道^{はたち}に生まれ、二十歳で高等学校（旧制）へ進学するまで住みました。

大学卒業後は、官吏を務めたあと、光治良は28歳で22歳の藍川金江と結婚してフランスに留学し、社会統計学を研究しました。



世田谷区三宿町の家で（1955年）

留学中に肺結核にかかりますが、一命をとりとめて、療養するなかで生き方を見つめなおし、やがて作家になる決心をします。

帰国した約1年半後、1930年4月33歳のとき、「ブルジョア」が雑誌『改造』の懸賞小説一等に当選、デビューを果たします。



『改造』1930年4月号

戦後の1950年には、日本ペンクラブの一員と

して、原爆被災地である広島を訪れました。

広島 of 惨状や原爆を体験した人々の話を見

聞き、＜フランス語に翻訳することを念頭に＞

1952年に「一つの世界―又はサムライの末裔

―」を発表しました。



「原爆体験者と作家が語る広島現地座談会」『キング』(1950年8月号)

芹沢光治良の作品について

大河小説 「人間の運命」

長編小説 「巴里に死す」「サムライの末裔^{まつえい}」

「孤絶^{ほほえみ}」「神の微笑」「天の調べ」

など

短編小説 「ブルジョア」「死者との対話」

「落葉の声」など

日記 「芹沢光治良戦中戦後日記」

エッセイ、少女小説など幅広い読者を対象とした

作品が約700点あります。

芹沢光治良がひきうけた役職は ——

日本ペンクラブ会長、日本文芸家協会理事、
日本ユネスコ国内委員、日本芸術院会員、ノー
ベル文学賞推薦委員などです。

日本では勲三等瑞宝章、日本芸術院賞、沼津
市名誉市民に、フランスでは友好国際大賞、
コマンドール章に選ばれました。



1969 年 日本芸術院賞受賞記念写真（前列右端 芹沢光治良）

長編小説『サムライの末裔』は ——

作品は終戦を迎えた 1945 年 8 月 15 日から始
まり、そこから原爆の落ちた広島や戦後の逗子、
東京を主な舞台として描いています。

戦前の生き方を貫く祖母、夫の帰りを待つ夫人、
アメリカ兵と結婚を考える長女、広島に投下さ
れた原爆の影響で運命を狂わされた長男とその
恋人。ある家族を通して、GHQ 占領下の戦後
の日本を懸命に生き抜こうとする人々が描かれ
ます。



広島 原爆ドーム

（写真提供：公益財団法人広島
観光コンベンションビューロー）

この作品は、1952 年に『婦人公論』で連載されたのち、1954 年に『一つの世界』というタイトルで単行本を刊行。フランス語訳『巴里に死す』に続いて 1955 年にフランスで刊行するに当たり、『サムライの末裔』とタイトルを変え、高い評価を得ました。



「一つの世界—又はサムライの末裔」連載第 1 回
『婦人公論』（1952 年 10 月号）

その後、新潮社の『芹沢光治良文学館 6 一つの世界』に収録され、また小学館の『サムライの末裔』では紙と電子の両方で再刊されて読むことができます。



『芹沢光治良文学館 6 一つの世界』
（新潮社 1996 年）



『サムライの末裔』
（小学館 2019 年）

芹沢作品の^{みりよく}魅力のひとつは、
“^{ふへんせい}普遍性”です。

🍀 読者からのメッセージ・・・・・・・・

『サムライの末裔』を読んで



『一つの世界』
(中央公論社 1954年)

🍀 (読者 I)

この作品は、フランス語版で出版されました。

原爆投下で、家も両親も愛する人も神さえも失
い、深い憤りを感じながらも自分を頼りに生き
ようとする日本の人びと。

光治良の筆致は、ヨーロッパの読者にも衝撃と
気づきと感銘をあたえたに違いありません。



フランス語版『サムライの末裔』
(ロベール・ラフォン社 1955年)



フランスでの書評記事
(1955年)



(読者 A)

日本の「サムライの末裔」へうけ継がれてきたものは、敗戦で失われました。

しかし、戦禍のなかを生き残ったひとびとは、敗戦のさきに「未来」を拓き、命を繋ごうと歩みだします。その心の強さに、感動をおぼえます。



『サムライの末裔』
(角川書店 1955 年)



(読者 C)

原爆投下の実相と、敗戦による占領下の実相。運命に翻弄され、過酷な現実流され、向き合い、そして受け入れて行く、各々の登場人物達。国、民族、肌の色、性別、思想、信条、信仰。それらの線引きや境界を無くし、対立や争い、分断を乗り越えて〈一つの世界〉を強く望む作者の平和への願い。

〈一つの地球〉であることに思いをはせる、戦後 80 年 (2025 年) です。



JAXA、産総研、東京大、高知大、立教大、名古屋大、千葉工大、明治大、会津大

【入手可能な芹沢光治良の主な作品】

図書館にある本

から触れてみて下さい。

作品の登場人物は、読者とともに喜んだり、
怒ったり、悲しんだり、楽しんだりします。

だれにも分かる誠実な文章です。



『巴里に死す』



『孤絶』



『芹沢光治良戦中戦後日記』



沼津市芹沢光治良記念館
静岡県沼津市我入道蔓陀ヶ原 517-1
電話 055-932-0255



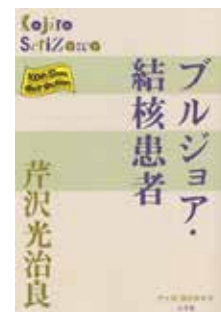
中野区立中野東図書館・
芹沢光治良記念文庫
東京都中野区中央 1-41-2
電話 03-5937-3559



少女小説集『緑の校庭』



『サムライの末裔』



『ブルジョア・結核患者』

【入手可能な電子書籍】



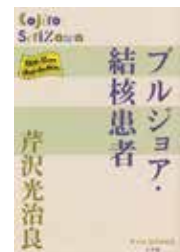
『芹沢光治良文学館』
全 12 巻



愛蔵版〈神と人間〉
全 8 冊セット



『サムライの末裔』
(小学館)



『ブルジョア・結核患者』
(小学館)



『孤絶』
(小学館)



愛蔵版『人間の運命』
全 7 冊セット
(新潮社版)



完全版『人間の運命』
本編 16 巻・別巻 2 巻
(勉誠出版)



『神の微笑』
(新潮社)



『愛と死の書』
(新潮社)



『愛と知と悲しみと』
(新潮社)



『離愁』
(KADOKAWA)



『故国』
(KADOKAWA)



『坂の上の家』
(KADOKAWA)



『春の谷間』
(KADOKAWA)

【あとがき】

本年（2025 年）は、戦後 80 周年の節目の年を迎えました。そこで、今回は広島市に投下された原爆の恐ろしさと敗戦後を生きる日本人を描いた『サムライの末裔』を紹介しました。

歴史を風化させず、平和を願い、未来に向けて行動していくためにも、本作品をお読みいただければ幸いです。

芹沢光治良ノート（5）

2025 年 5 月 4 日 発行

監 修：勝呂奏（桜美林大学教授）

編 集：池田三省 劔持直樹 清水美穂 野見山恵美子 不破久温

協力・写真提供：沼津市芹沢光治良記念館

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
講談社

中央公論新社

発 行：一般財団法人 芹沢光治良記念文化財団

〒164-0003 東京都中野区東中野 5-8-3

メール serizawa.52@nifty.com

ホームページ (URL) <https://serizawa-kojiro.com>

『芹沢光治良ノート』は財団ホームページに掲載されています。



『芹沢光治良の電子書籍一覧』が掲載されています。



印 刷：有限会社マエダ印刷

文学は

ものの言わぬ

神の意思に

言葉なき

をなすことだ

光治良